

事 務 連 絡  
令和4年6月14日

各都道府県教育委員会指導事務主管課  
各指定都市教育委員会指導事務主管課  
各都道府県私立学校事務主管課  
附属学校を置く各国公立大学法人附属学校事務主管課  
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた  
各地方公共団体の学校設置会社事務主管課

御中

文部科学省初等中等教育局教育課程課

### 「高校向け 金融経済教育指導教材」について

本年4月から高等学校学習指導要領が年次進行で実施され、家庭科等において金融教育の充実が図られることとなりました。

この度、これに関し、別添のとおり、金融庁から「高校向け 金融経済教育指導教材」について、周知の協力依頼がありました。

つきましては、都道府県教育委員会指導事務主管課におかれては、所管の高等学校及び域内の高等学校を設置する市町村教育委員会に対し、指定都市教育委員会指導事務主管課におかれては、所管の高等学校に対し、都道府県私立学校事務主管課及び構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社事務主管課におかれては、所轄の高等学校及び高等学校を設置する学校法人等に対し、附属学校を置く国公立大学法人附属学校事務主管課におかれては、附属の高等学校に対し、このことについて周知を図るなど、御協力をお願いします。

なお、本教材のダウンロード用 URL や利用方法等につきましては、別添をご参照下さい。詳細については金融庁に直接お問い合わせ下さいますようお願いいたします。

#### 【本件問い合わせ先】

文部科学省初等中等教育局教育課程課企画調査係  
電話：03-5253-4111（内線 2565）

#### 【教材に関する問い合わせ先】

金融庁総合政策局総合政策課  
電話：03-3506-6000（内線 3716）  
E-mail: fukyu@fsa.go.jp

事務連絡  
令和4年6月14日

文部科学省初等中等教育局教育課程課長 殿

金融庁総合政策局政策立案総括審議官

「高校向け 金融経済教育指導教材」の周知について（依頼）

平素から金融経済教育の推進に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

現代における働き方、暮らし方に関する人生の多様化等を踏まえ、生涯にわたって豊かな人生を送るためには、若いうちから自らのライフプランを検討するとともに、人生の様々なステージで必要となる資金の確保に向け、安定的な資産形成に取り組むことがますます重要になっており、そのためには、各個人が金融リテラシー（金融に関する知識や判断力）を高め、ニーズに見合う金融サービスを適切に選択することが重要です。

また、2022年4月からの成年年齢が引下げられたことで、成人後すぐに金融トラブルに巻き込まれることを防ぐためにも、金融リテラシーを早めに身に付けることが求められています。

本年度より年次進行で実施される高校学習指導要領の家庭科等において、金融経済教育に関する記載が充実されたことに伴い、上記の観点から、より実践的な授業を行っていただくための指導教材を作成し、金融庁HPで公表をしております（下記）。詳細は別添の「資料利用ガイド」もご覧ください。

つきましては、本教材が学校現場で活用され、金融経済教育の一層の充実が図られるよう、教育委員会等への周知についてご協力をお願いいたします。

教材掲載ページ：

<https://www.fsa.go.jp/news/r3/sonota/20220317/20220317.html>



（連絡先）金融庁総合政策局総合政策課  
東京都千代田区霞が関1-2-2  
TEL：03-3506-6000（内線3716）  
E-mail：fukyu@fsa.go.jp

## 本教材の目的

- 働き方、暮らし方に関する人生の多様化等を踏まえ、生涯にわたって豊かな人生を送るためには、
  - ✓ 若いうちから自らのライフプランを検討するとともに、
  - ✓ 人生の様々なステージで必要となる資金の確保に向け、安定的な資産形成に取り組むことがますます重要になっています。
- 安定的な資産形成を行う上では、各個人が金融リテラシー（金融に関する知識や判断力）を高め、ニーズに見合う金融サービスを適切に選択することが重要です。
- また、2022年4月からの成年年齢が引下げられたことで、成人後すぐに金融トラブルに巻き込まれることを防ぐためにも、金融リテラシーを早めに身に付けることが求められています。
- 本教材は、こうした問題意識の下、2022年度より年次進行で実施される高校学習指導要領の家庭科等を踏まえ作成しました。

## 金融教育資料は下記の構成となっています。

- 全体パッケージ版（全ての内容を俯瞰する、特定のスライドを選択して使用）
- 全体ダイジェスト版（★付「お奨め」スライドのみ、比較的短い授業時間で使用）
- 各章版（授業で取り扱うトピックごとに使用）
  - ・ 0章:はじめに
  - ・ 1章:家計管理とライフプランニング
  - ・ 2章:使う
  - ・ 3章:備える
  - ・ 4章:貯める・増やす
  - ・ 5章:借りる
  - ・ 6章:金融トラブル
  - ・ 7章:まとめ

## 利用方法は下記がおすすめです。

- 赤星（★）付スライド＝「お奨め」を使用する。
- 教材はpdfのほか、パワーポイント形式でご提供しており、資料の抜粋や改変等も自由に行えます。
- パワーポイント版には、ノート部分に説明を記載しています。
- 「4章：貯める・増やす」については、投資の基本的な考え方の一つである長期積立分散投資や、NISA等の非課税制度の資料等を追加した、「応用編」も作成しています。資産形成について、時間をかけてより詳しく取り扱う場合には、「応用編」をご利用ください。